



うみかぜ 海風



御前崎港管理事務所だより146号 (R3.8)



御前崎港にブルーカーボン！

近年、国際的に温室効果ガス削減の取組が推進される中、沿岸域の藻場等に生息する海洋植物などが取り込む炭素、いわゆる「ブルーカーボン」への注目が集まっています。

我が国は、「2050年カーボンニュートラル」を宣言しており、脱炭素社会を目指す上で、新たなCO2吸収源として期待されているブルーカーボンが、ここ御前崎港にあります。

～「陸のグリーンカーボン」と「海のブルーカーボン」～
森林や都市の緑など陸上の生物が吸収する炭素を「グリーンカーボン」と言い、これに対して、海草（アマモ等）や海藻など海の生物の作用で海中に取り込まれる炭素を「ブルーカーボン」と言います。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標

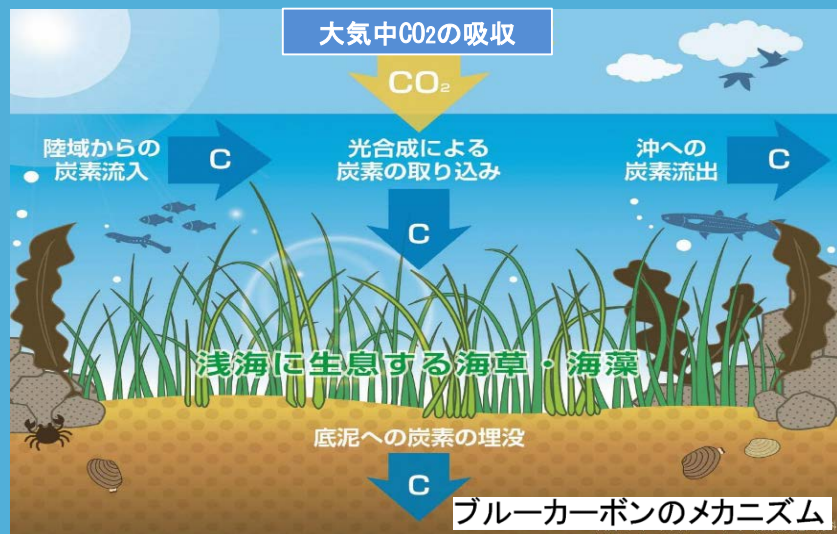
SDGs



コアマモの繁殖状況



くびしよ 久々生海岸(通称)



ブルーカーボンのメカニズム

エコパークだより

※エコパークは御前崎エコクラブと協働で維持管理を行っている御前崎港の港湾緑地です。7,000坪の敷地には、約400種類の花や木が植栽されており、1年を通して草花が楽しめます。

貝殻プラント作り体験学習



8月6日(金)御前崎市内の小学生16名が、御前崎の海について学ぶ体験プログラムの一つとして、貝殻に多肉植物を植栽する貝殻プラント作りに参加しました。先日まで開花していたリュウゼツランの説明を聞いたり、2つ3つと貝殻プラントを作って楽しんでいました。

ゼフィランサス(タスマダレ/ヒガンバナ科)



和名「タスマダレ」の由来は白い小さな花を「玉」に葉が集まっている様子を「簾・すだれ」に例えたもので、別名「レインリリー」はまたまた雨の後に一斉に花を咲かせることから付けられた名前です。

御前崎港の見学を御希望の方は、お気軽に管理事務所まで御連絡ください。皆様のお越しをお待ちしております

連絡先: 御前崎港管理事務所企画振興課 〒437-1623 御前崎市港6170-1
電話: 0548-63-3213 FAX: 0548-63-2173 メールアドレス: omaezaki-kikaku@pref.shizuoka.lg.jp
ホームページ: <http://doboku.pref.shizuoka.jp/desaki2/omaezaki>



いっしょに、未来の地域づくり。
静岡県交通基盤部